

(12/20)

「新会社」と「清算事業団」の労働条件を提示 12/24 - 1/7 に『希望調査』実施を提案

当局

差別・選別攻撃を絶対に許さな 組織と仲間を信頼し、 団結して闘いぬこう

十二月二〇日、「新会社」と「清算事業団」の労働条件の全ぼうが明らかとなった。われわれが指摘してきた通り「去るも地獄、残るも地獄」のすさまじいものである。十二月二四日からの希望調査実施をもつて始まる差別・選別攻撃にひるまず、組織と仲間を信頼し、団結して闘いぬこう。

首切り職場 II 「清算事業団」

十二月二〇日の団体交渉において、当局は「清算事業団」に所属する職員の賃金と、「新会社」への希望調査」の実施について提案を行った。

「新会社」へ行けない、全国で四万一千名の労働者が「清算事業団」所属となるが、適用基本給表、職群及び号俸は現行通りというものの、定期昇給及び昇格は一切行わず、勤務地、勤務内容については何ひとつ答えられない無責任きわまりないものである。収入の大巾減に加え、業務命令でイヤな仕事をおしつけ、早く追い出そうとする意図は明らかだ。

お先真暗な「新会社」

設立委員会は十二月十九日、「新会社」の労働条件を決定した。

これによると、基本給は現状維持とはいえ、退職金算定の基礎にしない第二基本給制の導入、各種手当の大幅整理・統合、削減、資格等級制度導入、定年制実施など、「私鉄並み」の名のもとに能力主義を前面にかかげたものとなっている。

すなわち、「新会社」は低賃金と業務命令による転勤、配転、出向の強制等、徹底した差別・分断支配の労務管理下におかれ、抵抗すれば首が切られる、物もい

えない職場となるのだ。ゴマスリが横行し、労働者同士がみにくく争いイガミ合、暗く、冷たい職場にしてはならない。団結こそ最大の武器

当局はこの団交の席上、十二月二四日から一月七日にかけ、全職員に「意思確認書」を配布し、「承継法人(新会社)の職員となることに関する意思確認」を行うとの提案を行った。

北海道旅客会社から財団法人・鉄道総合技術研究所まで、十一の新会社のうちから「就職を希望する会社を希望順位に従ってすべて書け」だと。ふざけるな。千葉県に住み、千葉局で働く労働者に「千葉局」以外のどこで働け、というのか。

暮れ、正月という時期に国鉄労働者と家族を不安のドン底に突き落とそうとする当局に、こみ上げる怒りを押えることができない。

われわれは、十二月二四日に開かれる第十五回定期委員会において、分割・民営化絶対反対の旗を堅持しあくまで闘う方針を確立する。

団結こそ最大の武器だ。一切の差別・選別攻撃を許さず闘いぬこう。